

笠之原十五夜大綱引大祭 実行委員会



Contents 目次

- 4 ▶ Special Feature **鳥獣戦線** - 鳥獣被害を考える -
- 12 **Hot News**
- 14 **まちのおしごと**「今井スタイル(株)鹿児島工場」
- 16 あなたの想いを故郷に ふるさと納税
- 18 地域交通を見つめ直す
- 20 スマート smartな「ごみ」削減
- 22 **Information**
- 26 放課後は **別の顔** / タイム トラベル
- 27 **花**のかけ橋 「白井 朔弥 さん」
- 28 **読者のひろば**
- 29 **カノヤトリベリ**
- 30 **健康らいふ**
- 31 **広告のひろば**
- 32 **プレゼント / MOVIE**でかのや / 映画情報



子どもたちの 貴重な思い出となるように

笠之原に長く伝わる伝統行事であり、町内で最も大きい行事である「笠之原十五夜大綱引大祭」。運営を担う「笠之原十五夜大綱引大祭実行委員会」では、子どもたちの故郷の原風景になつてほしいとの思いを胸に活動に取り組んでいます。

「笠之原十五夜大綱引大祭実行委員会」は、江戸時代中期に笠之原へ伝わり、^{ごこくほうじょう}五穀豊穡への感謝から始まった綱引き行事を子々孫々まで伝える活動を行っています。直径45cm、長さ60m、約1.5tの重さがある大綱は、芯となるロープの周辺にカズラを巻き付け、その上に町内から集めた稲わらを、笠之原町消防団員を中心に約3日間掛けて手編みして作ります。大祭は、できあがった大綱を威勢よく引き合い商売繁盛や家内安全を祈願する、町内の秋の風物詩とも言える行事です。近年になって途絶えていた時期もありますが、地域をつなぎ子どもたちの心に残る行事として今後も継承していくよう活動していきます。

笠之原十五夜大綱引大祭実行委員会
みやじま たつみ 宮島 辰己 実行委員長

笠之原町出身。建築塗装業として二十歳で独立し46年間自営業を営む。十五夜大綱引きには、子どもの時から多くの思い出があり、消防団員としても綱作りなどに携わる。趣味のバイクや車は、最近乗る機会がなく残念と話す。



笠之原公園で9月23日、4年ぶりとなる「笠之原十五夜大綱引大祭」が開催されました。来場者は法螺貝の合図に合わせ、1回目は豊年、2回目は商売繁盛、3回目は交通安全などを願い、声を掛け合いながら大綱を引き合いました。

今月の表紙

大隅湖で秋の夜空を彩る花火

高隈の秋の名物「大隅湖レイクサイドフェスティバル2023」が10月14日に開催されました。花火といえば夏のイメージがありますが、涼しい風が吹き始める秋の夜に打ちあがる花火は、夏とはまた違った風情があります。音楽に合わせた色とりどりの花火とレーザーが湖面と夜空を彩り、訪れた多くの人々を魅了していました。



統計情報 令和5年9月1日現在 (前月比)

- ・人口 / 98,690人 (- 30) ・世帯 / 46,318世帯 (+ 16)
- ・男性 / 47,330人 (- 1) ・面積 / 448.15km²
- ・女性 / 51,360人 (- 29)

鹿屋市広報

	市ホームページ			市公式フェイスブック	
	市公式LINE			市総合アプリ「かのやライフ」	
	市政インフォメーション FMかのや (77.2MHz) 平日 8:05 ~ & 16:05 ~			マチイロ (広報誌閲覧アプリ)	
	かのやファン倶楽部				